

PSCSU News

発行所：パナソニック セミコンダクターソリューションズ労働組合
住 所：京都府長岡京市神足焼町1番地
発行人：南 俊幸 編集人：吉井 英喜

2019-No.23
2020年 5月18日

4月22日(水)、PSCS労組第3回中央委員会を開催しました。各支部からの建設的な意見が出される中、「2020年総合労働条件改善闘争集約に関する件」などの全ての議案について満場一致で確認されましたので報告します。

1. 2020年闘争の集約提案について

2. 株式譲渡後の人事・労働・福祉条件について

3. パナソニック デバイスコンポーネント労働組合(仮称) 結成準備委員会設置について

満場一致で確認されました

南中央執行委員長挨拶 (要旨)

世界中で新型コロナウイルスの感染拡大が健康と経済に深刻な影響を及ぼす中で、感染拡大防止に向けて様々な対策が施されているものの、根本的な治療薬やワクチンがまだ確立できていない状況の中では、人々の意識と行動制限に頼らざるを得ないのが実態であり、長期化することを前提として、生活や仕事においても変化・変革が求められている。

組合活動においても社会や働き方の変化に即した進め方なども論議・検討し「変化を進化」に変えていく必要があるのではないかと思います。

■2020総合労働改善闘争について

2020闘争では、電機連合・PGUの統一闘争を基軸として、人への投資のあり方を中心に、3つの不安払拭と事業の持続的発展に向けて労使論議・交渉を展開した結果、大きな変化として、現在の生活不安と将来の不安を賃金水準改善と退職金・年金制度の拡充という形でハイブリッド化し、社会的なメッセージ性も込めた回答を得ることができた。

これまでの闘争から「変化」した、今回の結果が職場組合員の不安払拭に寄与したのかどうか、PGUや電機連合とも連携や検証しながら次年度以降の「進化」につなげていきたいと思う。

■労働福祉条件の答申批准について

2020闘争の雇用・生活・将来不安の払拭というテーマと平行して、我々は、Nuvoton社への株式譲渡にともなう新会社の労働福祉条件に対する不安を払拭し、従業員が団結し前向きに業務推進ができる環境をつくるべく、労使労対委員会を立ち上げ論議し労使答申をいただいた。

各種制度全体を見える化し、承継できる制度、出来ない制度が明確となり、承継できない制度についてはTSA後の方向性も示されたこと、また、制度上代替えや適用ができない項目・脱退をとまなう制度についても最大限の配慮が示されたこと、加えて一致団結を促す協力一時金の支給が示されたことなど、組合員の意を踏まえた答申となったものと考えている。今後の変化を皆の力で「進化」させていくために答申の確認をお願いする。

また、今後具体的なアクションがある中で、支部・本部一体となって対処していきたい。

■組合組織体制について

闘争や労対委員会と平行し、組合の組織財政PJでは、昨年10月から8回に亘り論議して頂いた。途中PSCS社の株式譲渡と電子部材の個社化という衝撃的な大改革の発表内容も含め込み、豊かに生きるという理念の基、組合員に安心を提供できる存在を目指して、役員主体性と組合員の参画を高めるために、今をどう進むべきかを共有するための中期ビジョンと道筋を策定いただいた。

具体的に、答申頂いたように、新たな組織体制の確立に向けて準備を加速させ、これまで以上の組合体制へと「進化」させていきたい。各支部のご理解とご協力をお願い申し上げ、中央委員会冒頭の挨拶とさせていただきます。



議案に対する主な意見・要望

○第1号議案:2020総合労働改善闘争について

意見・要望

1. 賃金について

3つの不安の払拭の中でまずは現在の生活不安を解消することが優先されると考える。次年度以降の交渉の中でも月例賃金の改定を最優先にさせていただくことを要望する。また、株式譲渡後、親会社が変わることで、個社内の雇用不安が増すことも予想されるので、こちらの払拭の施策もあわせて要望する。

2. 一時金について

一時金については、株式譲渡後の2021年度以降は、労働対策委員会からの答申にある通り、これまでの算出基準をより実状にあわせたものに変更される。これにより現在の原資額から大幅に減額されるような算式となると、組合員の生活不安を増すことになるので、算出基準の策定は慎重な論議の上で決めていただくよう要望する。

3. 働き方改革の推進について

労働時間の適正化及びチャレンジ休暇の取得率向上についてより効果を上げるには、個々人の取り組みと組織としての取り組みを連携させることが必要と考える。そのためにも今後も本部支部間で密に連携して取り組むことを要望する。

新型コロナウイルスが私たちの「生活や経済」に多大な影響を及ぼす中で真摯な交渉の結果、組合員の期待に応える回答を引き出せたと思っている。このような環境下の中でPSCSが新たな枠組みに向かって挑戦するための「はじめの一步」ではないかと思う。

「生活、雇用、将来」という3つの不安払拭に向けて働く魅力を高め、仕事への誇り、挑戦しつづける姿勢などを引き出すには、生活水準の維持・向上は必要不可欠であった。最も重要な「人への投資」においても組合員が前向きに志を高く進んでいける回答内容であった。

賃金・一時金・労働協約の改定についても、この交渉で得た回答内容を重く受け止め、PSCSUに集う全組合員の末端まで想いが届くよう力強い発信・呼びかけを行う。

最後となるが、非常事態宣言がでている「新型コロナウイルス感染拡大」が一日も早く終息し、私たちが向かう新たなステージに「春が来ること」を祈りながら、今後それぞれが歩む新単組で迎える春闘を変化に怯まず、むしろチャンスと思い、高い志を持って果敢に挑戦するそんな統一闘争へ進化するよう要望する。

本部見解

賃金について、20闘争の結果は組合員の現在の「生活不安」、「将来不安」の払拭につながっていくものであると考えている。今後、組合員の生活や意識がどう変わったか調査する必要があると考えている。その結果も踏まえ21闘争に反映していきたい。

雇用不安払拭に向けては、具体的な活動は今後検討しなければならないが、経営対策活動を強化していきたい。

一時金の決定方法は、統一闘争の基本方針に則って取り組みたいと考えているが、各個社において、会社の標準的な業績を図る指標は何なのか、組合員の一時金の使途という観点などを念頭において労使労対委員会を立ち上げ論議・検討していきたい。

働き方改革については、引き続き各支部と協力して改善に向け取り組んでいきたい。

○第2号議案:PSCSグループの株式譲渡後の人事制度・労働条件・福祉に関する答申批准に関する件

意見・要望	<p>1. 株式譲渡時点で承継できない制度について</p> <p>承継できない制度については、方向性とその考え方が示され、ほぼ不利益のない内容であると考えているが、確定給付年金については、対象者にとって生涯設計を考えるうえで重要な要素となるので、今後の手続きを含めて、引き続き丁寧な説明・対応の要請をお願いします。</p> <p>2. TSA関連項目について</p> <p>一部の制度にTSA期間が設けられたことは、円滑に新体制への移行を進めるうえで重要であり、TSA期間、また、TSA後の方向性についても明確化が進んできたことは組合員の不安解消にもつながるものとする。</p> <p>ただし、TSA項目の中には健康保険等、組合員の生活に大きく影響するものも含まれている。また、TSA期間については、今後、Nuvoton社との調整を踏まえ決定されることになるが、今後の論議の中で、不利益が少なくなるような制度設定をするとともに、論議内容のタイムリーな公開をお願いします。</p> <p>3. 協力一時金について</p> <p>新会社が発展していくためには、全従業員が一致団結し、挑戦し続けることが重要であり、そのためには、従業員の安心の基盤となる労働条件・福祉制度の整備が必要不可欠であるとする。全従業員が一致団結し、やりがい・働きがいをもち安心して働けるよう、今後も労働条件・福祉制度の環境構築に努めて頂くようお願いする。</p>
	<p>今回の答申内容について、亀岡支部としても決して他人事とは思わず、職場から現行の制度が今後どう変わっていくのか、個社化になりいつまで維持できるのかといった声があった。</p> <p>この答申内容は、株式譲渡で移行する組合員の気持ちを満面の笑顔にするものではないと思うが、労使交渉を重ねた結果、組合員にとって大きな不利益にならないような方向づけができたと思う。</p> <p>いずれにしても、今回の答申内容が今後、新たな会社で労働福祉条件の改革に向かって批准されることは、個社化へと進む私達にとって大きな「道しるべ」になると思う。</p>
本 部 見 解	<p>株式譲渡後の人事制度・労働条件・福祉についての労使論議は限られた時間、かつ、Nuvoton社との直接交渉関係にない状態でのいわゆる制約条件下での論議であった。その中で意識したことは、項目の明確化と方向付けによる安心感の創出であった。</p> <p>本答申はDay1に向けた準備であり、今後も詳細論議が必要となる。外資系半導体専業メーカーとしての新たな労使関係構築を伴いながら、全従業員が一致団結し、やりがい・働きがいをもち、安心して働ける環境構築を目指したいとする。</p>

【席上提案】

○第3号議案:パナソニック デバイスコンポーネント労働組合(仮称)結成準備委員会設置の件

意見・要望	<p>2016年8月にPSCS(株)に対峙する労働組合として関係する3労組からPSCS労働組合が誕生しました。ただ、私達亀岡支部は、新労組結成に向け、これから限られた期間の中で結成準備委員会を進めていくことになる。</p> <p>PSCSU結成当時のメンバーはほとんどいないが、これまで皆さんと一緒に築いてきたPSCSUの運動理念や、これまで培ってきた運動・活動および文化・風土の良い点を継承しつつ新たに立ち上げる新労組については、個人や企業、社会の明日(未来)に希望が持てるような組合活動を目指していきたいと思う。</p> <p>新労組結成準備委員会の中で論議されていく中には様々な項目がある。今後、公平公正な立場で議論が行えるよう引き続きご支援とご協力をお願いします。</p>
	本 部 見 解